

反則一覧表

種別	ジャンボリー			煙し銀		
	白帯	青紫帯	茶黒帯	白帯	青紫帯	茶黒帯
打撃攻撃	×	×	×	×	×	×
かみつき	×	×	×	×	×	×
目潰し	×	×	×	×	×	×
つねり	×	×	×	×	×	×
くすぐり	×	×	×	×	×	×
指をつかむ	×	×	×	×	×	×
スラム	×	×	×	×	×	×
ヒールホールドまたはヒールフック	×	×	×	×	×	×
脊髄や頸椎を狙った攻撃	×	×	×	×	×	×
極め技を仕掛けられた際の故意な場外逃避	×	×	×	×	×	×
ニーリーピング(外掛け)	×	×	×	×	×	×
足関節(膝十字固め、アングルホールド等、茶黒帯で認められているもの)	×	×	○	×	×	○
跳び付きクローズドガード	×	○	○	×	○	○

IPPONジャンボルール

一、IPPONジャンボリーにおいては、5対5の勝ち抜き式を基本とする。

IPPONジャンボリー”燵(銀”(41歳以上の部)においては、3対3の勝ち抜き式を基本とする。

二、カテゴリーは、白帯の部、青紫帯の部、茶黒帯の部に分けて行う。

上の帯色の部に出場することは可能。階級は『無差別級のみ』とする。

三、勝敗は、関節技、絞め技による一本、又は反則による失格のみで決する。ポイント、アドバンテージは入らない。

四、試合時間は、本戦5分、延長戦5分とする。時間切れの場合、先鋒から副将までは両者引き分けとなり、延長戦は行わない。

大将同士で引き分けた場合のみ、大将がそのまま延長戦を行い、勝敗を決する。決着がつかない場合は、審判判定により勝利者を決定する。

五、寝技の攻防にて、両者ともに30秒間展開がない場合は、「待て」をかけ、立ち技から再開することがある。

六、関節技または絞め技(以下、極め技とする。)で場外に出そうになった場合は、以下の通り定めることとする。

① 様子を見る

極め技が決まりそうな場合は、場外から畳一枚分を出るまで様子を見る。

② 寝技から再開

極め技を仕掛けられている側が、エスケープに成功した場合、または場外から畳一枚分より外に出た場合は、「待て」をかけ、試合場内から寝技で再開する。

③ 立ち技から再開

ただし、アングルホールド等の極め技を防御するために、場外に出てしまった場合は、試合中央から立ち技で再開する。

④ 反則負け

極め技を仕掛けられた際に、自ら場外逃避した場合は、反則負けとする。

※ 例:三角絞を仕掛けられた際に、相手を持ち上げて場外逃避する。

七、反則は以下の通りとし、直ちに反則負けとする。

あらゆる打撃攻撃、かみつき、目潰し、くすぐり、つねり、指を掴んだり反対側に曲げたりする行為、背中を床につけている相手を持ち上げて叩き落とす行為(スラム)、ヒールホールド及びヒールフック、脊髄や頸椎を狙った攻撃。

絞め技や関節技については、IBJJFルールに準ずることを基本とする。

(白帯の部は白帯ルール、青紫帯の部は紫帯ルール、茶黒帯の部は黒帯ルールに基づく)

※ ニーリービング(外掛け)は全てのカテゴリーにおいて禁止とする。

※ 極め技を仕掛けられた際に、自ら場外逃避した場合は、反則負けとする。

※ 跳び付きクローズドガードについては、IPPONジャンボリー 白帯の部、IPPONジャンボリー燵(銀 白帯の部において仕掛けた場合、反則負けとする。

跳び付きクローズドガードが有効なのは、IPPONジャンボリー男子 青紫帯の部、茶黒帯の部、燵(銀 青紫帯の部、茶黒帯の部となる。

八、道衣は柔術衣または柔道衣とする

(色は上下の色違いも含み自由。パッチ類の位置も自由。ただし、はつれや破れているものは不可。)